



平成30年4月20日（金）  
利根川水系渇水対策連絡協議会  
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成30年度  
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会  
幹事会（春季定例会）の開催結果について

1. 開催状況

日時：平成30年4月19日（木） 10:30～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館14階 災害対策本部室

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、  
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、  
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、  
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、  
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

問い合わせ先

|                                                                                   |                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 国土交通省<br>関東地方整備局 河川部<br>河川環境課<br>河川環境課長<br>建設専門官<br>水政課<br>水政調整官<br>水政課長<br>課長補佐  | 住所 〒330-9724<br>埼玉県さいたま市中央区新都心2-1<br>さいたま新都心合同庁舎2号館<br>電話 （代表） 048-601-3151 |
| 吉川 宏治（内線）3651<br>延常 浩次（内線）3652<br>石川 喜則（内線）3515<br>福島 信之（内線）3551<br>井上 和昌（内線）3557 |                                                                             |

## 現状と今後の対応

### (1) 現状

- 降水量（栗橋地点上流域平均）の状況
  - 1月の降水量は39mm（平均値に対する割合89%）
  - 2月の降水量は17mm（平均値に対する割合36%）
  - 3月の降水量は108mm（平均値に対する割合163%）
  - 4月17日までの累加降水量は18mm（4月の累加降水量の平均値は90mm）
- 積雪の状況（4月18日9時現在）
  - 藤原ダム地点 積雪深0cm（3月28日に消雪）
  - 尾瀬沼地点 積雪深140cm（平均値に対する割合75%）
- 利根川上流8ダムの貯水状況（4月18日0時現在）
  - 貯水量は同時期の平均貯水量を上回っています。
  - 貯水量4億2,015万m<sup>3</sup>、貯水率91%、平均値に対する割合123%

### (2) 今後の見通し

- 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報；4月14日から5月13日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。
- 利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藺原）は、気温上昇に伴い融雪によるダムへの流入量が増加しており、今後、満水状態に向かう見込みです。
- 今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足すること考えられます。
- 鬼怒川上流4ダムの貯水量は同時期の平均貯水量を下回っており、今後、下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためにダムからの補給を行います。降雨状況によっては、貯水量が不足すること考えられます。

### (3) 今後の対応（案）

- 利根川上流8ダム、鬼怒川上流4ダム等は、上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- ダム群の貯水量の状況や積雪及び降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

平成30年度 第1回利根川水系渇水対策  
連絡協議会幹事会（春季定例会）

## 利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム上流部（平成30年4月10日撮影）

平成30年4月19日

関東地方整備局

# 1. 利根川上流8ダム等の現状

## (1) 利根川

### 1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（平成30年4月17日までの降水量）

《平成29年》

上半期は1月の降水量は平均を上回り、2月以降は平均を若干下回る程度でしたが、6月は97mm（月間平均値（昭和23年～平成28年に対する割合は55%）と、昭和23年以降の70年間で8番目に少ない降水量となりました。

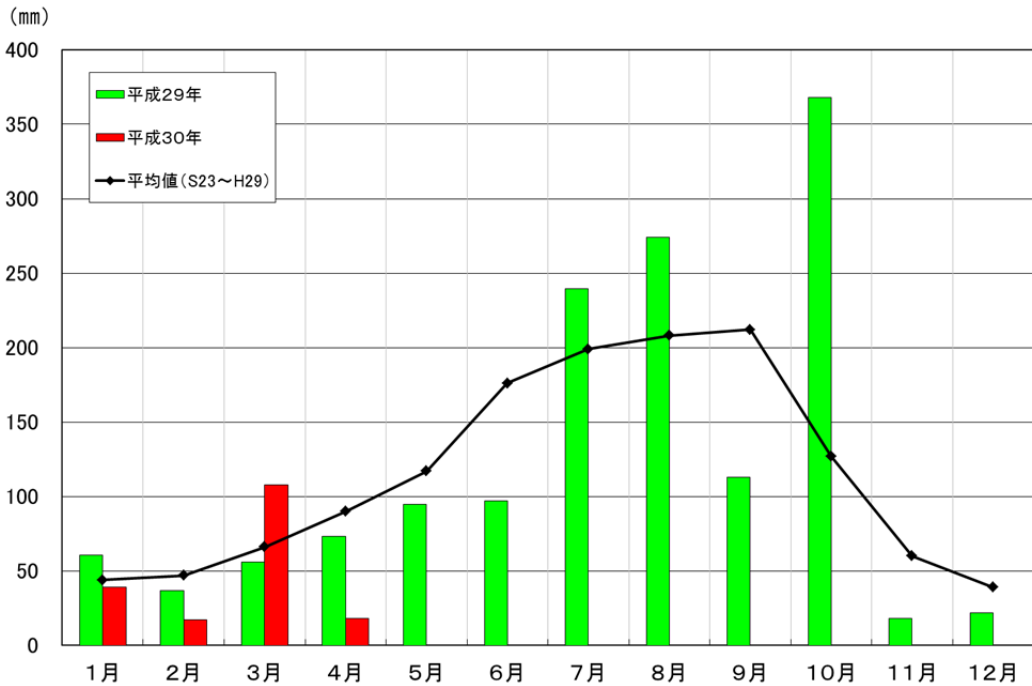
下半期は7月、8月及び10月に前線性降雨や台風等の影響により平均降水量を上回ったが、11月は平均降水量の3割程度と極端な少雨でした。

《平成30年》

1月の降水量は平均程度であったが、2月は4割弱の少雨、3月は逆に1.5倍強の多雨でした。

（図－1、表－1参照）

なお、4月の降水量は、17日までの累加で18mmとなっています。（4月の降水量の平均値は90mm）



図－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量

表－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（平成30年4月17日まで）

| 単位 (mm)          | 1月 | 2月 | 3月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 合計    | 摘 要     |
|------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---------|
| 昭和62年            | 22 | 33 | 62  | 14  | 89  | 91  | 204 | 186 | 252 | 73  | 39  | 26  | 1,091 | 利根川夏渇水  |
| 平成2年             | 31 | 66 | 71  | 119 | 58  | 74  | 118 | 193 | 326 | 143 | 183 | 31  | 1,413 | 〃       |
| 平成6年             | 27 | 50 | 52  | 23  | 139 | 107 | 104 | 153 | 346 | 87  | 26  | 29  | 1,143 | 〃       |
| 平成8年             | 26 | 35 | 68  | 47  | 98  | 117 | 155 | 78  | 217 | 80  | 55  | 23  | 999   | 利根川冬夏渇水 |
| 平成9年             | 33 | 33 | 59  | 74  | 179 | 173 | 170 | 167 | 206 | 14  | 94  | 20  | 1,222 | 利根川冬渇水  |
| 平成13年            | 79 | 35 | 75  | 23  | 136 | 176 | 116 | 366 | 321 | 173 | 46  | 23  | 1,569 | 利根川夏渇水  |
| 平成19年            | 34 | 21 | 38  | 67  | 126 | 159 | 262 | 116 | 380 | 137 | 27  | 53  | 1,420 | (少雪年)   |
| 平成24年            | 43 | 57 | 115 | 98  | 206 | 192 | 190 | 87  | 221 | 85  | 55  | 47  | 1,395 | 利根川夏渇水  |
| 平成25年            | 43 | 38 | 20  | 134 | 46  | 168 | 152 | 153 | 244 | 224 | 24  | 48  | 1,294 | 〃       |
| 平成28年            | 69 | 36 | 57  | 104 | 56  | 156 | 134 | 328 | 312 | 55  | 68  | 56  | 1,431 | 〃       |
| 平成29年            | 61 | 37 | 56  | 73  | 95  | 97  | 240 | 274 | 113 | 368 | 18  | 22  | 1,453 |         |
| 平均値<br>(S23-H29) | 44 | 47 | 66  | 90  | 117 | 176 | 199 | 208 | 212 | 127 | 60  | 39  | 1,385 |         |
| 平成30年            | 39 | 17 | 108 | 18  |     |     |     |     |     |     |     |     | 182   |         |
| 平均値に対する割合 (%)    | 89 | 36 | 163 | 20  |     |     |     |     |     |     |     |     | 13    |         |

※：利根川取水制限実施月（一時緩和含む） ※栗橋上流域面積：8,588km<sup>2</sup>

2) 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の雪の状況（平成 29 年～30 年 冬期）

《積雪状況》

藤原ダム地点は 11 月 21 日に初冠雪となり、翌年 1 月初旬にまとまった降雪があり、1 月 4 日に今冬期の最大積雪深 150cm を記録しました。以降、平均的な降雪量があったものの累加降雪量は平均を若干下回る程度となりました。

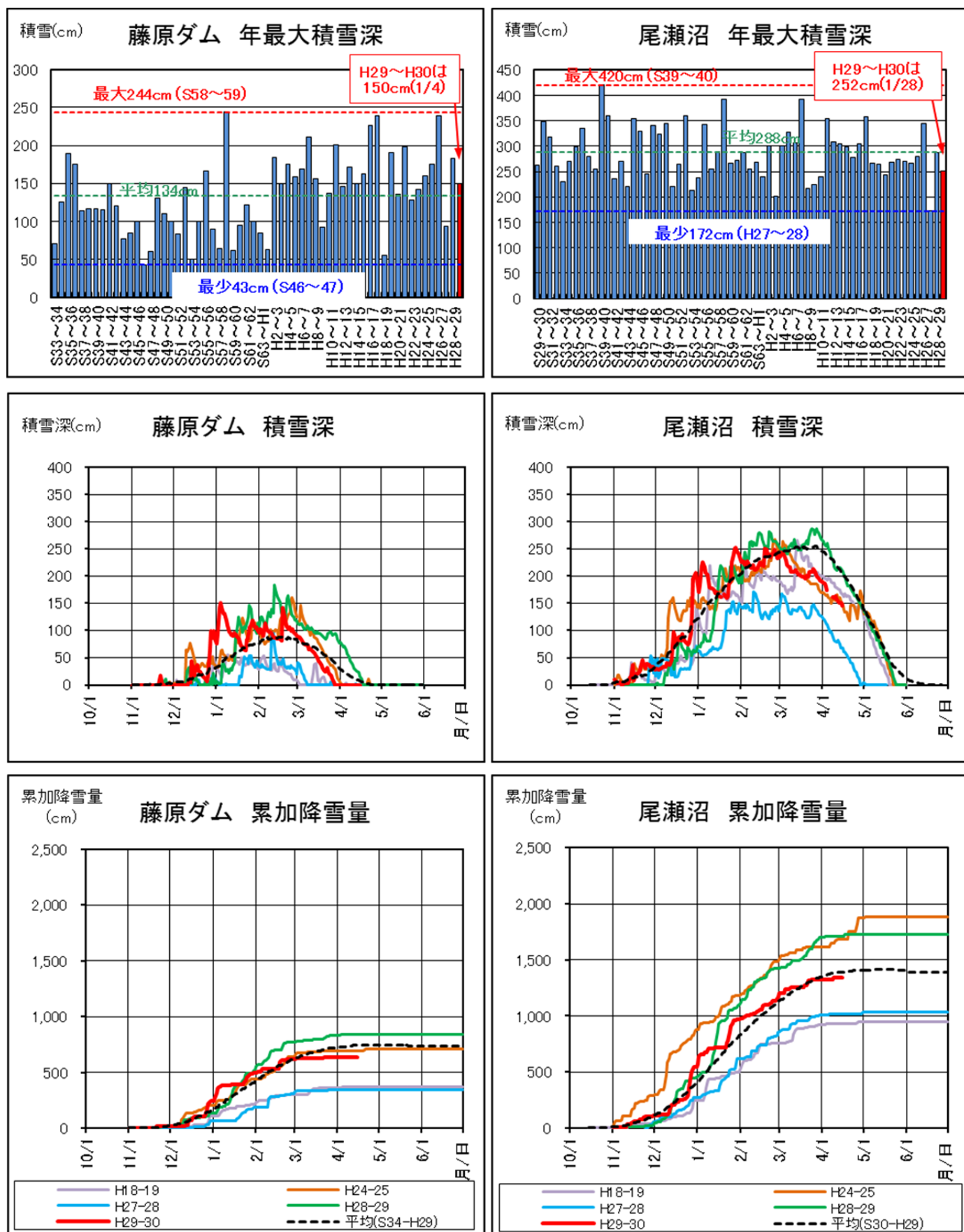
一方、尾瀬沼地点は、11 月 1 日初冠雪となり、年末と 1 月下旬にまとまった降雪があり、以降、平均を下回る降雪量で推移しました。

《融雪状況》

積雪深からみると、藤原ダム地点では 2 月中旬から急激に下がりだし、4 月初旬には消雪し、尾瀬沼地点では平均的には 4 月から積雪深が下がり、融雪が始まっていますが、本年は 3 月から始まっており、融雪が早くなりました。（表－2、図－2 参照）

表－2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量

| 観測所名                 | 時 点                     | 積雪深    | 今期最大積雪深<br>(発生日) | 累加降雪量    |
|----------------------|-------------------------|--------|------------------|----------|
| 藤 原 ダ ム<br>(標高 667m) | 平成 30 年 4 月 15 日 9 時現在  | 0 cm   | 150cm(1 月 4 日)   | 633 cm   |
|                      | S34～H29 の 4 月第 3 半旬末平均値 | 7 cm   |                  | 741cm    |
| 尾 瀬 沼<br>(標高 1666m)  | 平成 30 年 4 月 15 日 9 時現在  | 146 cm | 252cm(1 月 28 日)  | 1,341 cm |
|                      | S30～H29 の 4 月第 3 半旬末平均値 | 205 cm |                  | 1,391 cm |



図ー2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量図

(平成30年4月15日9時現在)

※過去及び平均のデータは半月末の値



### 3) 各観測所の積雪深の状況

奥利根流域における積雪観測所の平成30年4月15日9時現在の積雪状況は、標高の高い観測所では積雪は残っていますが、同時期の平均積雪深を大きく下回っており、残雪が少ない状況となっています。

(図-3、図-4 参照)

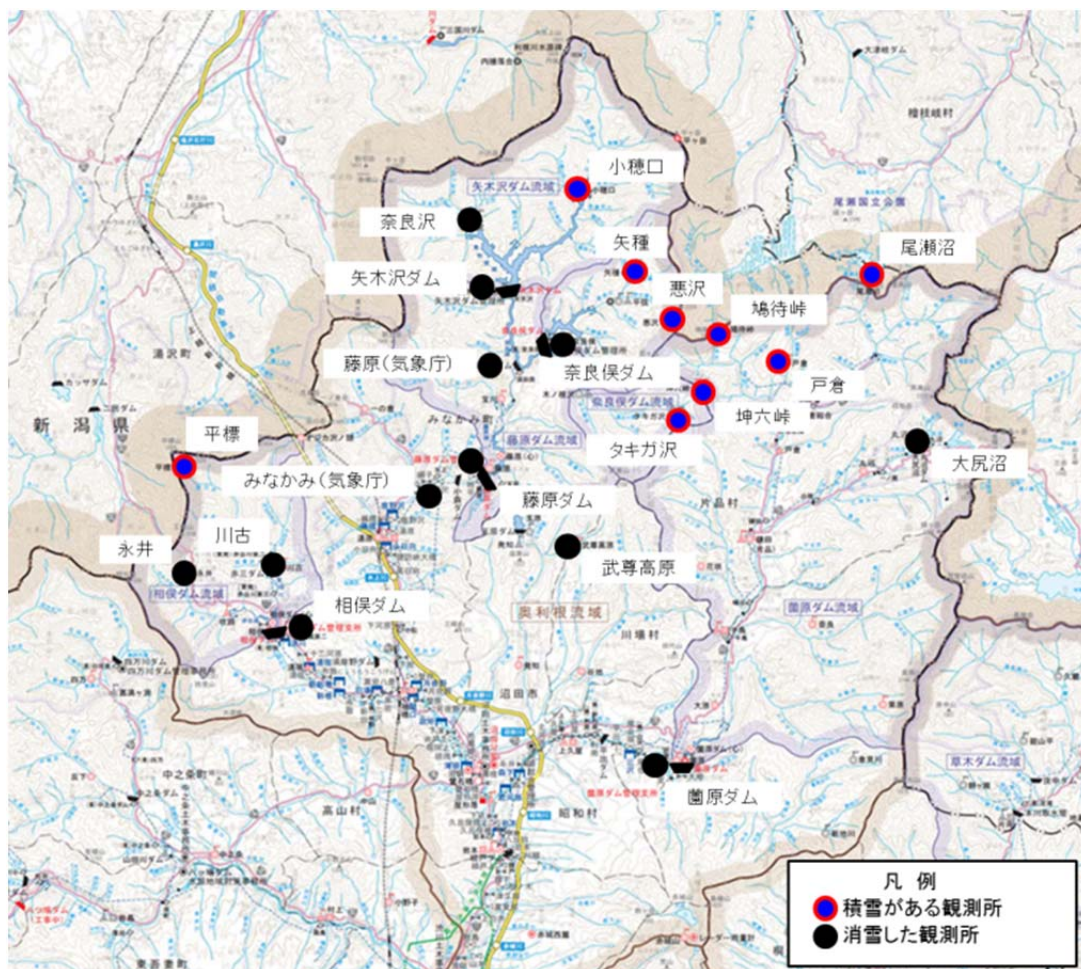


図-3 積雪観測所位置図

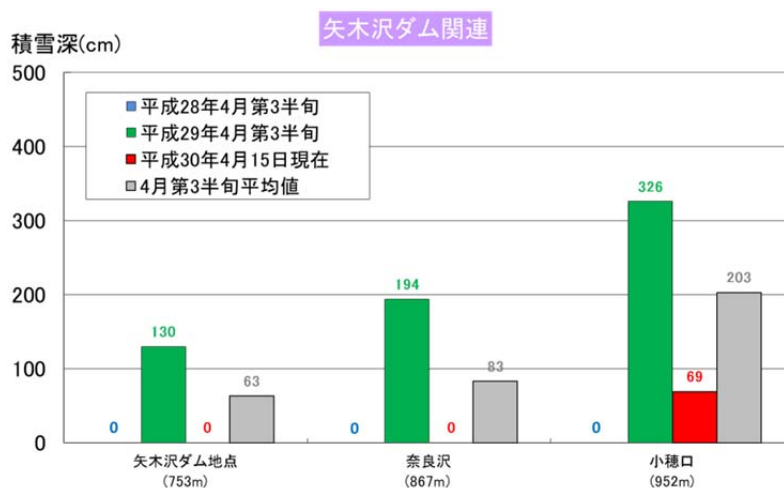
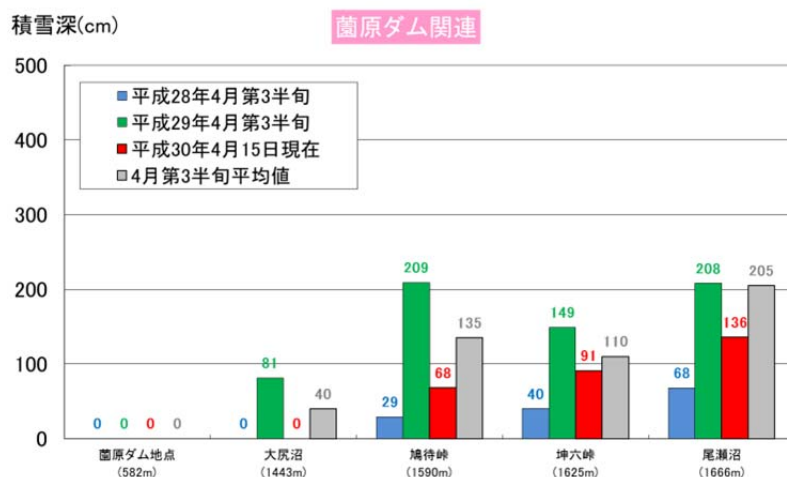
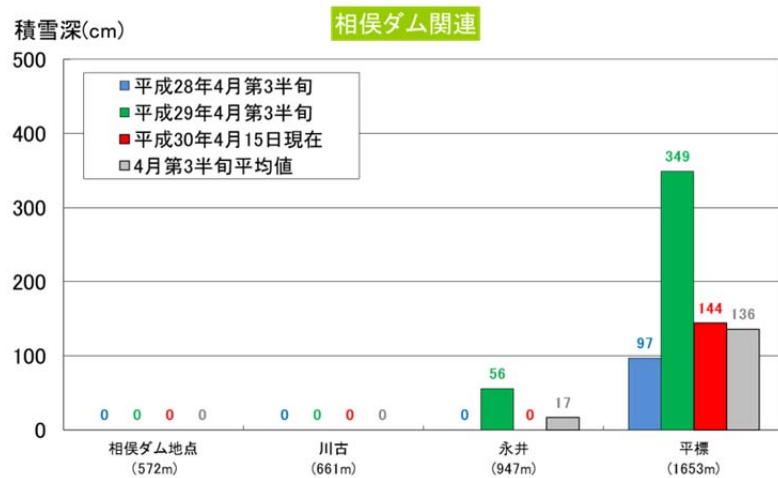
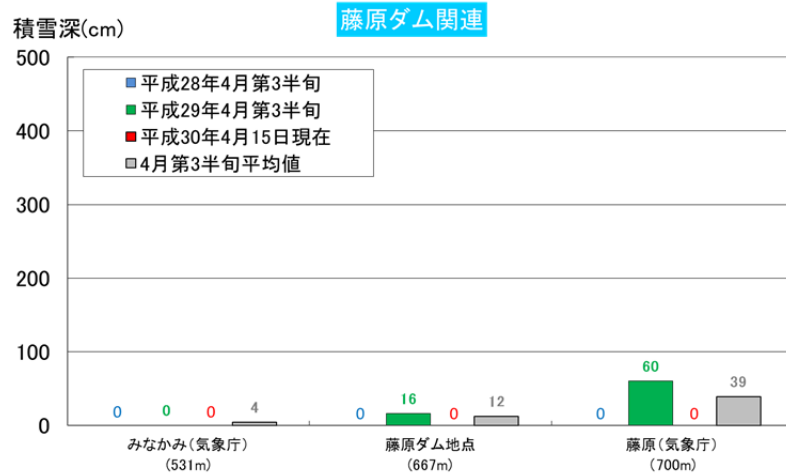
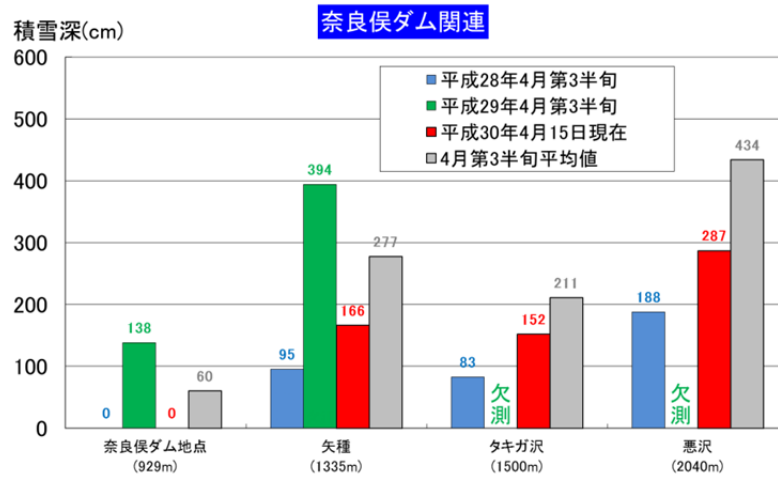


図-4 各観測所の積雪深状況 (1) (平成30年4月15日現在)



図一 4 各観測所の積雪深状況 (2) (平成 30 年 4 月 15 日現在)



4) 利根川上流8ダムの貯水状況等（平成30年4月18日0時現在）

《平成29年》

5月10日に奥利根5ダム（矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダム）が満水となりましたが、下久保ダム、草木ダム及び渡良瀬貯水池は貯水率が70～80%程度と満水には至りませんでした。その後、6月の降水量は少ない状態が続き、下流の水需要及び流況の維持のため、ダムからの補給を継続し、その結果、7月1日の貯水量は2億5,688万m<sup>3</sup>（対平年値の約8割）まで低下しました。その後、前線性降雨や台風等の影響により貯水量が大きく回復しました。

出水期以降も10月には台風等によるまとまった降雨があり、利根川上流ダム群は、10月31日に4億m<sup>3</sup>を超えるまで回復し、以降、利根川本川及び各支川の水需要と流況維持に合わせ補給を継続してきました。

《平成30年》

このダム補給は2月まで続き、3月からは例年より早い雪解けが始まり、奥利根山間部の積雪状況、下流の取水状況及び流況等も鑑み、奥利根5ダムでは融雪によるダム流入を貯留し始めました。

4月18日0時現在の利根川上流8ダムの合計貯水量は、4億2,015万m<sup>3</sup>、貯水率は91%（貯水量の平均値（平成4年～平成29年）に対する割合は123%）となっています。（表－3、図－5参照）

なお、奥利根5ダムの合計貯水量は2億4,891万m<sup>3</sup>、貯水率は94%で、藤原ダム、矢木沢ダム、及び奈良俣ダムはほぼ満水となっています。

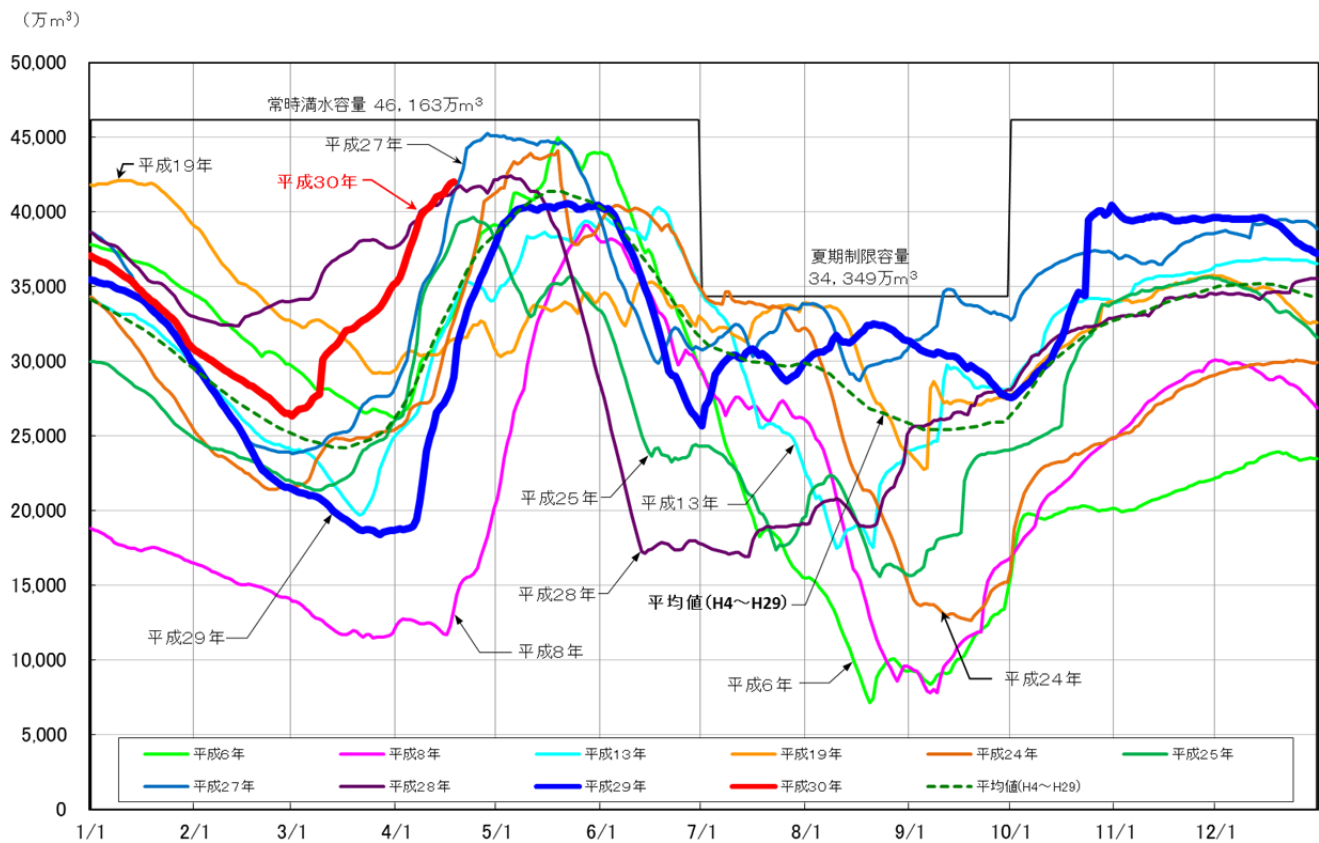
表－3 利根川上流8ダム貯水量（平成30年4月18日0時現在）

| ダ ム 名                     | 有 効 容 量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 貯 水 量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 貯 水 率<br>(%)        | 前日補給量<br>(万m <sup>3</sup> /日) |
|---------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 矢木沢ダム                     | 11,550                        | 11,419                      | 99                  | －187                          |
| 奈良俣ダム                     | 8,500                         | 8,423                       | 99                  | －6                            |
| 藤原ダム                      | 3,101                         | 2,771                       | 89                  | 93                            |
| 相俣ダム                      | 2,000                         | 1,347                       | 67                  | －48                           |
| 藺原ダム                      | 1,322                         | 931                         | 70                  | 27                            |
| 5ダム合計                     | 26,473                        | 24,891                      | 94                  | －121                          |
| 下久保ダム                     | 12,000                        | 11,814                      | 98                  | 1                             |
| 草木ダム                      | 5,050                         | 4,910                       | 97                  | －10                           |
| 渡良瀬貯水池                    | 2,640                         | 400                         | 15                  | －8                            |
| 8ダム合計                     | 46,163                        | 42,015                      | 91                  | －138                          |
| 8ダム合計の平均値<br>(平成4年～平成29年) |                               | 34,071                      | (平均値に対する割合<br>123%) |                               |

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

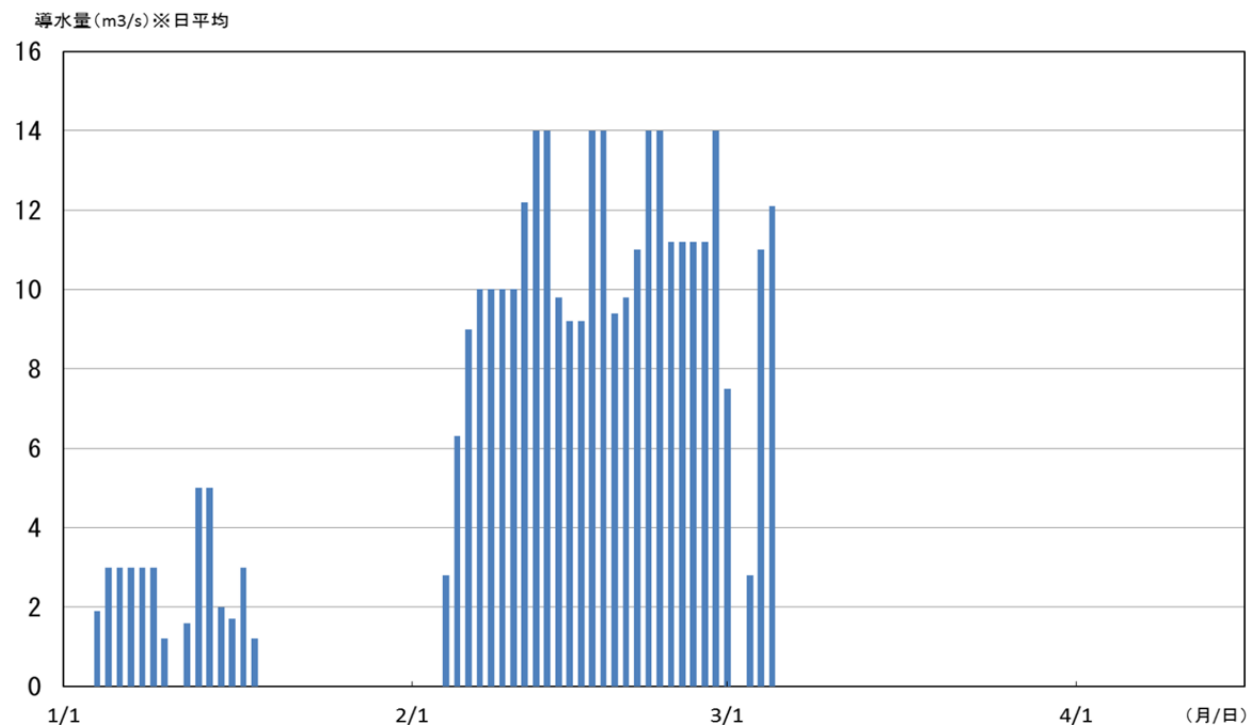
※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）



図－５ 利根川上流８ダム貯水容量図（平成 30 年 4 月 18 日 0 時現在）

#### ５）北千葉導水路の運用状況

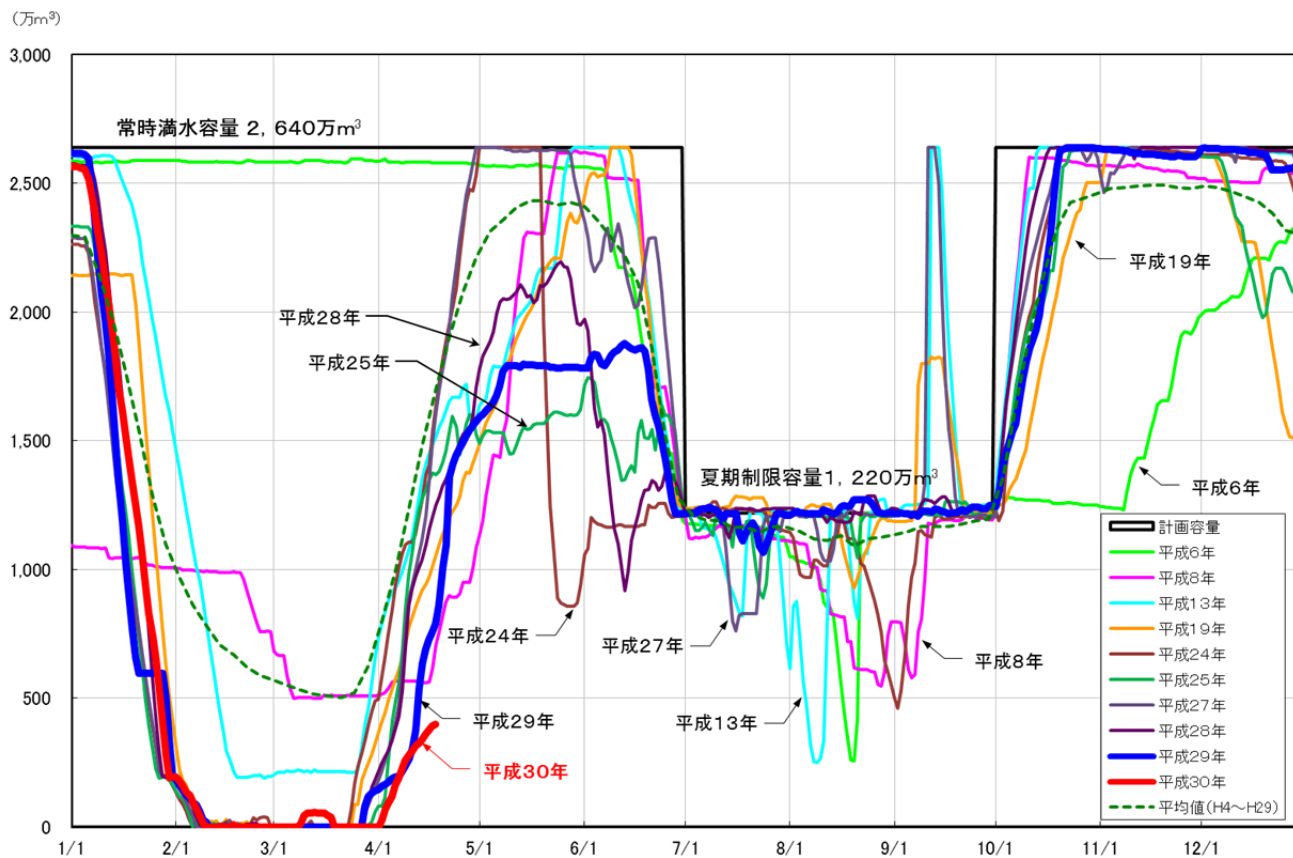
年明けから２月まで少雨傾向が続き、江戸川の流況が悪化したため、北千葉導水路により利根川から江戸川への導水を１月上旬より運転を開始し、４月までに最大 14m³/s、総量約 2, 9 5 9 万 m³（43 日間）の導水を行いました。（図－６参照）



図－６ 平成 30 年 北千葉導水路の運用状況

## 6) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。平成30年も1月5日より下流に向け補給しつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後、4月1日より貯留を開始し、平成30年4月18日0時現在の貯水量は、400万 $\text{m}^3$ 、貯水率は15%（貯水量の平均値（平成4年～平成29年）に対する割合は24%）となっています。（図－7）

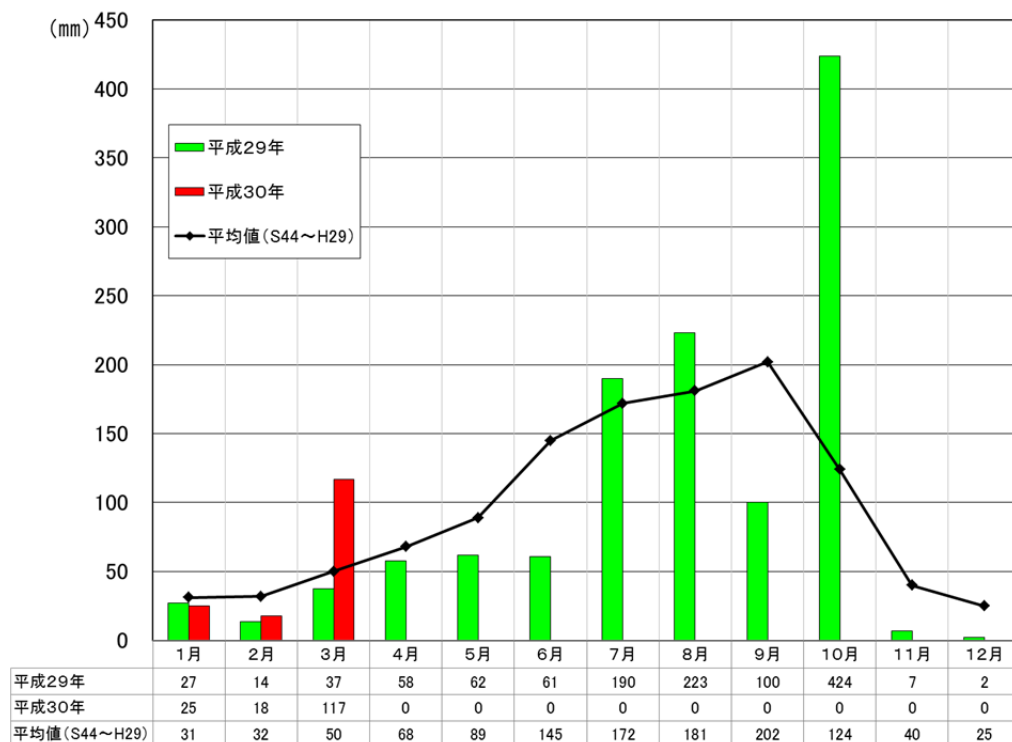


図－7 渡良瀬貯水池貯水量図（平成30年4月18日0時現在）

## 7) 下久保ダムの降水量及び貯水量の状況

### 《降水状況》

平成 29 年 4 月以降の神流川下久保ダム地点の流域平均降水量は、洪水期を除けば平均値を下回っていますが、10 月の降水量は 424mm（月間平均値（昭和 44 年～平成 28 年）に対する割合は 342%）と昭和 44 年下久保ダム管理開始以降の 49 年間で、最も多い降水量となりました。（図－8 参照）



図－8 神流川下久保ダム地点流域平均降水量（平成 30 年 3 月 31 日まで）

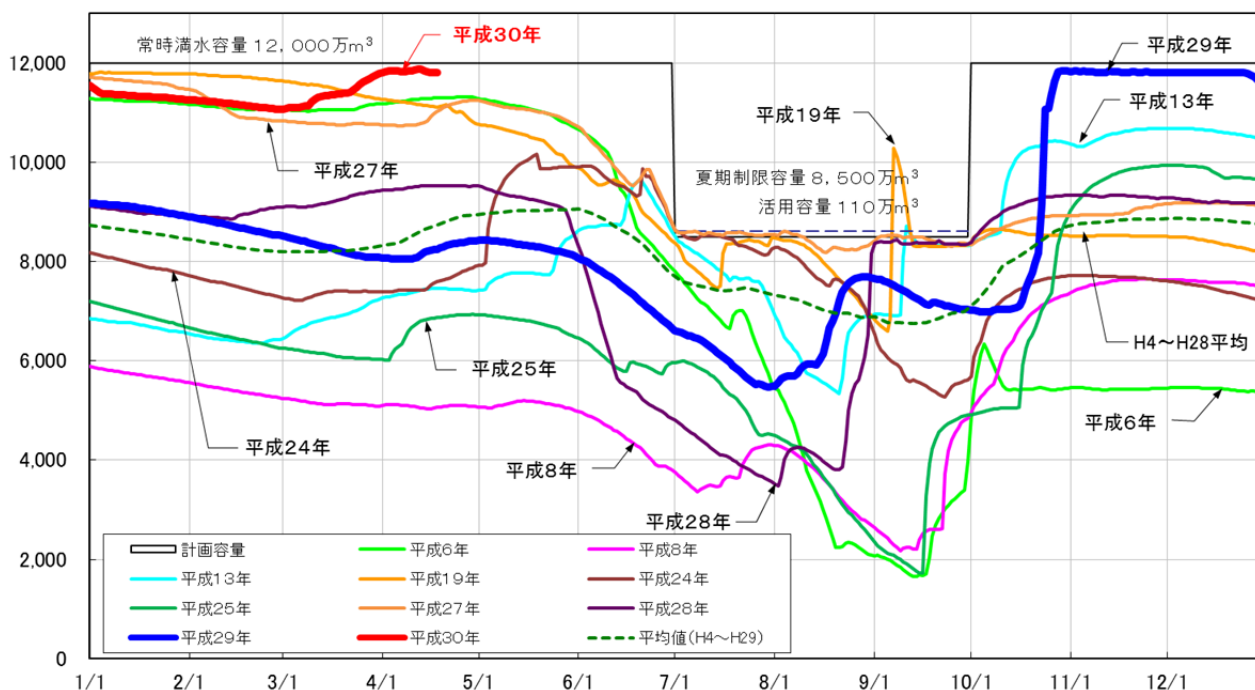
### 《貯水状況》

貯水量は、5 月～8 月に減少していたものの、平成 29 年 10 月の台風 20 号、台風 21 号により劇的に貯水量が回復し、現在はほぼ満水の状況となっています。（図－9 参照）

下久保ダムの満水は平成 22 年以来、8 年ぶりとなります。

4 月 18 日 0 時の貯水量は、1 億 1, 8 1 4 万  $m^3$ 、貯水率 98% となっています。

(万  $m^3$ )



図－9 下久保ダム貯水量図（平成 30 年 4 月 18 日 0 時現在）

## (2) 鬼怒川

### 1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（平成 30 年 4 月 17 日までの降水量）

《平成 29 年》

2 月から 6 月まで 5 ヶ月間連続で平均値を下回りました。

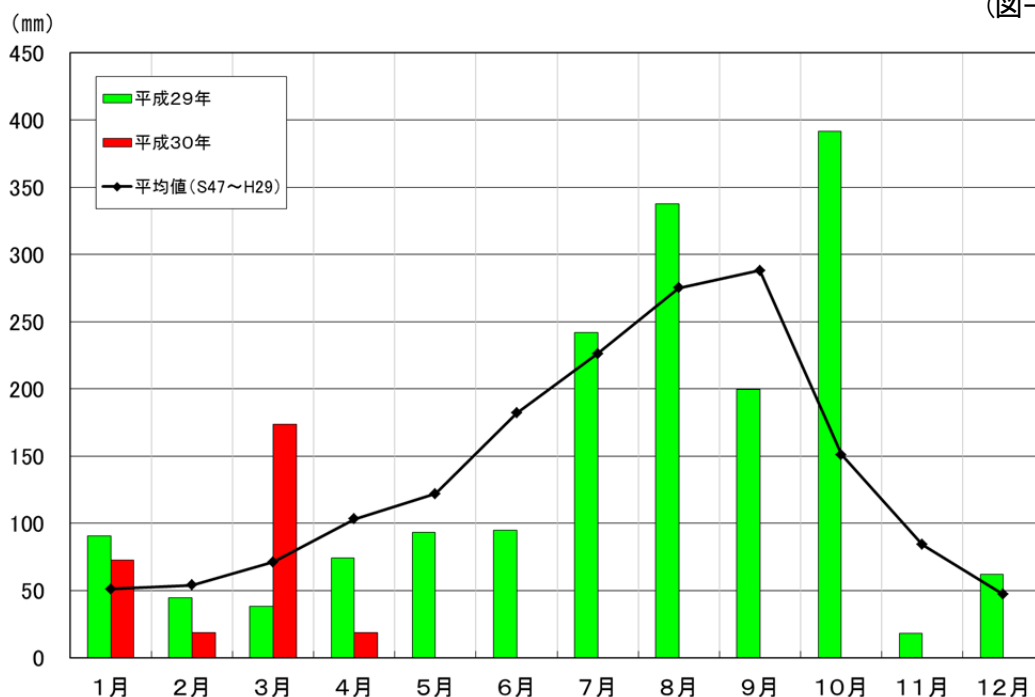
特に 6 月の降水量は、平均値 183mm に対し 52%となる 95mm で、昭和 47 年以降の 45 年間で 2 番目に少ない値となりました。

《平成 30 年》

平成 30 年に入り、2 月は平均値を大きく下回りましたが、3 月に平均値を大きく上回る降雨がありました。

4 月の降水量は 17 日までの累加で 21mm となっています。（4 月の降水量の平均値は 103mm）

（図－10、表－4 参照）



図－10 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量

表－4 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（平成 30 年 4 月 17 日まで）

| 単位 (mm)       | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 合 計   | 摘 要 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-------|-----|
| 昭和 62 年       | 21  | 34  | 127 | 21  | 121 | 134 | 186 | 156 | 321 | 121  | 38   | 21   | 1,301 |     |
| 平成 2 年        | 35  | 89  | 79  | 164 | 53  | 111 | 109 | 338 | 394 | 195  | 220  | 66   | 1,853 |     |
| 平成 4 年        | 42  | 15  | 129 | 199 | 182 | 234 | 166 | 152 | 61  | 217  | 42   | 54   | 1,493 |     |
| 平成 5 年        | 91  | 84  | 20  | 17  | 89  | 226 | 321 | 307 | 280 | 112  | 209  | 52   | 1,808 |     |
| 平成 6 年        | 15  | 118 | 77  | 21  | 126 | 103 | 159 | 218 | 551 | 122  | 25   | 48   | 1,583 |     |
| 平成 7 年        | 62  | 14  | 170 | 99  | 216 | 337 | 167 | 113 | 177 | 57   | 65   | 68   | 1,545 |     |
| 平成 8 年        | 46  | 69  | 79  | 67  | 113 | 103 | 176 | 109 | 211 | 66   | 65   | 36   | 1,140 |     |
| 平成 9 年        | 46  | 55  | 74  | 52  | 145 | 272 | 234 | 114 | 274 | 17   | 215  | 27   | 1,525 |     |
| 平成 13 年       | 56  | 13  | 34  | 13  | 116 | 185 | 147 | 484 | 610 | 225  | 62   | 35   | 1,980 |     |
| 平成 24 年       | 40  | 47  | 101 | 111 | 314 | 276 | 227 | 109 | 354 | 113  | 71   | 75   | 1,838 |     |
| 平成 25 年       | 45  | 35  | 14  | 147 | 46  | 171 | 177 | 172 | 411 | 301  | 29   | 66   | 1,614 |     |
| 平成 28 年       | 66  | 35  | 31  | 109 | 63  | 138 | 94  | 401 | 306 | 49   | 53   | 47   | 1,392 |     |
| 平成 29 年       | 91  | 45  | 38  | 74  | 93  | 95  | 242 | 337 | 200 | 392  | 18   | 62   | 1,686 |     |
| 平均値 (S47-H29) | 51  | 54  | 71  | 103 | 122 | 182 | 226 | 275 | 288 | 151  | 84   | 47   | 1,654 |     |
| 平成 30 年       | 73  | 19  | 174 | 21  |     |     |     |     |     |      |      |      | 286   |     |
| 平均値に対する割合 (%) | 143 | 35  | 245 | 20  |     |     |     |     |     |      |      |      | 17    |     |

※秋ヶ瀬上流域面積：2,021km<sup>2</sup>



## 2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等（平成30年4月18日0時現在）

《平成29年》

4月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するため、ダムに貯留した水を補給し続け、春先からの降水量が少なかったこともあり、5月上旬には平均値を下回る貯水量となり7月末には1億 $\text{m}^3$ 付近まで低下しました。

このような状況の中で鬼怒川においては、7月6日から8月10日の36日間（一時緩和期間を含む）にわたり10%の取水制限を実施しました。

《平成30年》

平成30年4月18日0時の貯水量は2億490万 $\text{m}^3$ 、貯水率81%（貯水量の平均値（平成25年～平成29年）に対する割合は89%）となっています。（表－5、図－11 参照）

なお、五十里ダムは、平成29年10月から平成30年4月中旬まで、堰堤改良事業の工事により貯水位を下げていました。

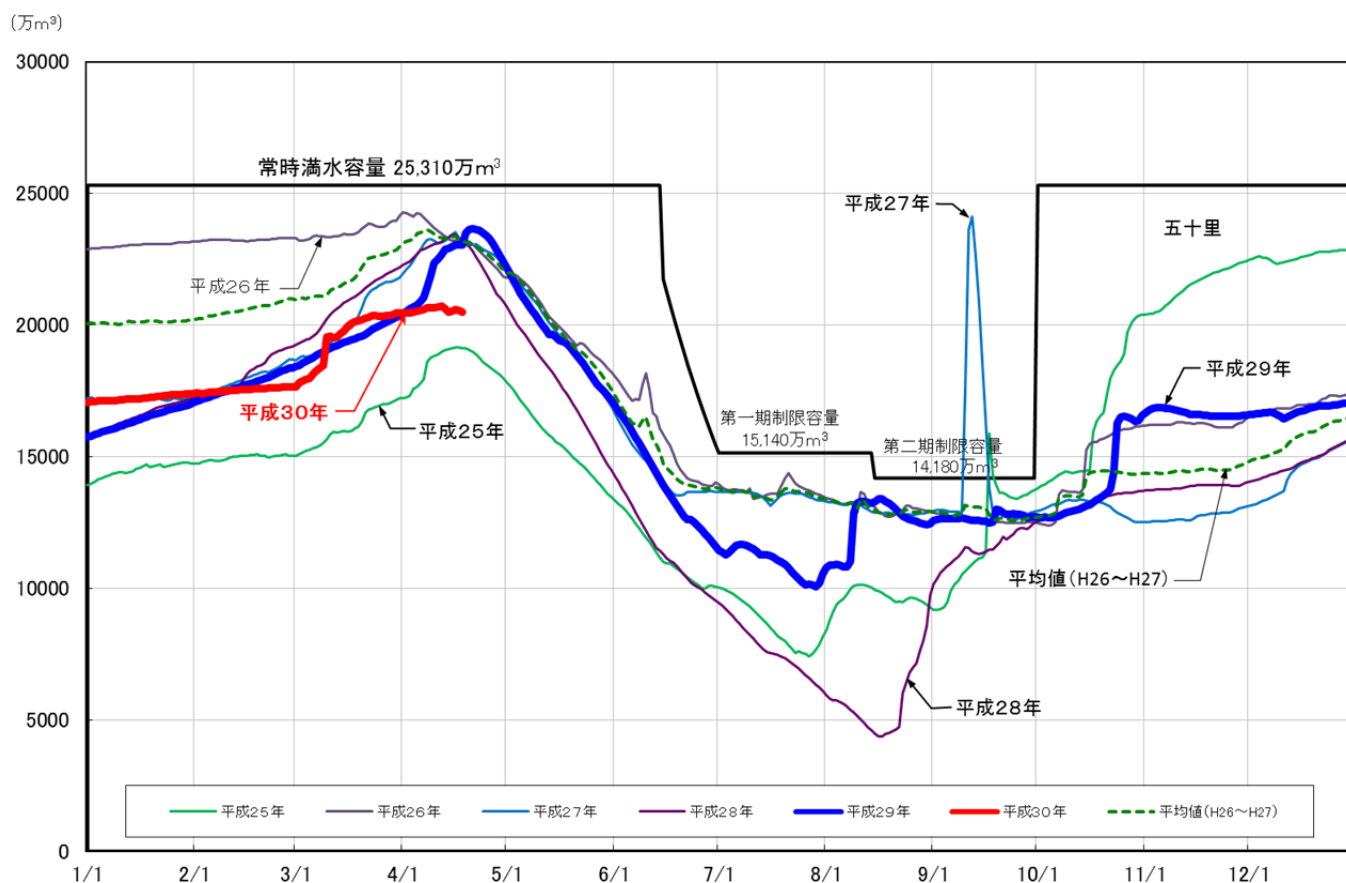
表－5 鬼怒川上流4ダム貯水量

| 平成30年4月18日0時現在             |                           |                          |                    |                              |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------|------------------------------|
| ダム名                        | 有効容量<br>(万 $\text{m}^3$ ) | 貯水量<br>(万 $\text{m}^3$ ) | 貯水率<br>(%)         | 前日補給量<br>(万 $\text{m}^3$ /日) |
| 五十里ダム                      | 3,200                     | 42                       | 1                  | 13                           |
| 川俣ダム                       | 7,310                     | 7,220                    | 99                 | 25                           |
| 川治ダム                       | 7,600                     | 6,570                    | 86                 | -6                           |
| 湯西川ダム                      | 7,200                     | 6,658                    | 92                 | 21                           |
| 4ダム合計                      | 25,310                    | 20,490                   | 81                 | 53                           |
| 4ダム合計の平均値<br>(平成25年～平成29年) |                           | 23,146                   | (平均値に対する割合<br>89%) |                              |

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）



図－11 鬼怒川上流4ダム貯水容量図（平成30年4月18日0時現在）

(3) 荒川水系

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（平成30年4月17日までの降水量）

《平成29年》

4～6月、及び9月が平均値を下回りました。特に6月の降水量は70mmと平均値（昭和40～平成28年の月平均）の半分以上の少雨となりました。一方で10月の降水量は、台風20号、及び台風21号により488mm（月間平均値に対する割合は337%）であり、昭和40年以降の53年間で2番目に多い降水量となりました。

しかし、11月、12月は平均を大きく下回る少雨となりました。

《平成30年》

平成30年に入ってから、1月、2月は平均値を下回り、3月になって160mm（月間平均値に対する割合は235%）と、昭和40年以降の53年間で最も多い降水量となりました。

なお、4月の降水量は、17日までの累加で13mmとなっています。（4月の月間平均値は95mm）

（図-12、表-7参照）

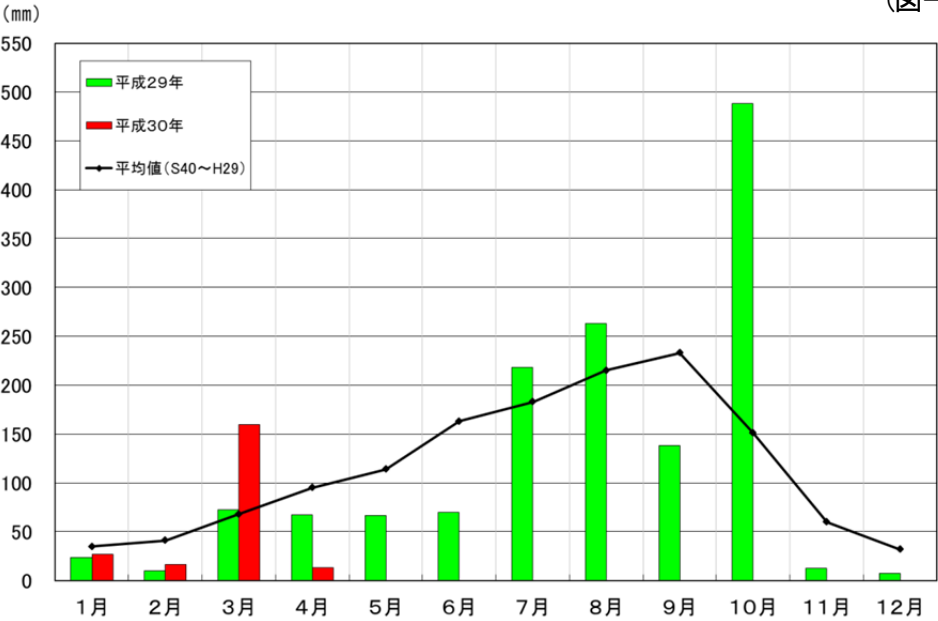


図-12 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

表-7 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成30年4月17日まで）

| 単位(mm)       | 1月 | 2月 | 3月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 合計    | 摘要         |
|--------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------------|
| 昭和62年        | 16 | 29 | 66  | 8   | 66  | 88  | 146 | 103 | 280 | 91  | 46  | 36  | 975   | 利根川・荒川夏渇水  |
| 平成2年         | 22 | 67 | 83  | 138 | 48  | 55  | 77  | 228 | 473 | 134 | 301 | 31  | 1,657 | 利根川・荒川夏渇水  |
| 平成4年         | 26 | 15 | 118 | 136 | 117 | 250 | 87  | 177 | 63  | 285 | 52  | 29  | 1,355 | 荒川夏渇水      |
| 平成5年         | 82 | 34 | 37  | 44  | 76  | 186 | 275 | 276 | 204 | 112 | 113 | 25  | 1,464 | 荒川夏渇水      |
| 平成6年         | 42 | 44 | 64  | 25  | 111 | 103 | 152 | 142 | 344 | 119 | 21  | 24  | 1,191 | 利根川・荒川夏渇水  |
| 平成7年         | 24 | 25 | 111 | 44  | 129 | 239 | 177 | 109 | 180 | 73  | 24  | 0   | 1,135 | 荒川夏渇水      |
| 平成8年         | 1  | 22 | 55  | 62  | 80  | 47  | 204 | 32  | 314 | 74  | 57  | 17  | 965   | 利根川・荒川冬夏渇水 |
| 平成9年         | 21 | 13 | 57  | 70  | 187 | 168 | 148 | 72  | 204 | 7   | 87  | 21  | 1,055 | 利根川・荒川冬渇水  |
| 平成13年        | 98 | 17 | 98  | 30  | 179 | 120 | 69  | 279 | 444 | 247 | 67  | 9   | 1,657 | 利根川夏渇水     |
| 平成24年        | 36 | 54 | 93  | 86  | 257 | 217 | 102 | 65  | 245 | 93  | 54  | 33  | 1,335 | 利根川夏渇水     |
| 平成25年        | 35 | 18 | 37  | 152 | 36  | 172 | 94  | 77  | 238 | 327 | 17  | 46  | 1,249 | 利根川夏渇水     |
| 平成28年        | 75 | 53 | 74  | 72  | 44  | 119 | 90  | 462 | 247 | 31  | 87  | 60  | 1,414 |            |
| 平成29年        | 24 | 10 | 73  | 67  | 67  | 70  | 218 | 263 | 138 | 488 | 13  | 7   | 1,438 | 荒川夏渇水      |
| 平均値(S40~H29) | 35 | 41 | 68  | 95  | 114 | 163 | 183 | 215 | 233 | 151 | 60  | 32  | 1,390 |            |
| 平成30年        | 27 | 17 | 160 | 13  |     |     |     |     |     |     |     |     | 217   |            |
| 平均値に対する割合(%) | 77 | 41 | 235 | 14  |     |     |     |     |     |     |     |     | 16    |            |

※ 荒川取水制限実施月（一時緩和含む） ※秋ヶ瀬上流域面積 2,021km<sup>2</sup>

## 2) 荒川4ダムの貯水状況等（平成30年4月18日0時現在）

《平成29年》

1月は平年並みの貯水量でしたが、2月の少雨とダムからの補給により、3月末頃には貯水率が50%を下回るまで減少しました。その後、4～6月までの少雨の影響により、7月26日には、4ダム体制になって過去最低の貯水量（4,288万m<sup>3</sup>）を記録しました。

荒川においては、7月5日から8月25日の52日間（一時緩和期間を含む）にわたり10～20%の取水制限を実施しました。取水制限は平成9年以来、20年振りとなり、20%取水制限は平成6年以来、23年振りとなりました。（20%の取水制限は7月21日から8月6日まで）

《平成30年》

前年末から降水量が少ない状況が続き、下流での取水、流況の維持のため、ダムからの補給を継続したこともあり、2月末頃に平均を下回るまで貯水量が低下しましたが、その後のまとまった降雨により回復し、平成30年4月18日0時の貯水量は10,987万m<sup>3</sup>、貯水率76%（貯水量の平均値（平成22年～平成29年）に対する割合は115%）となっています。（表－8、図－13参照）

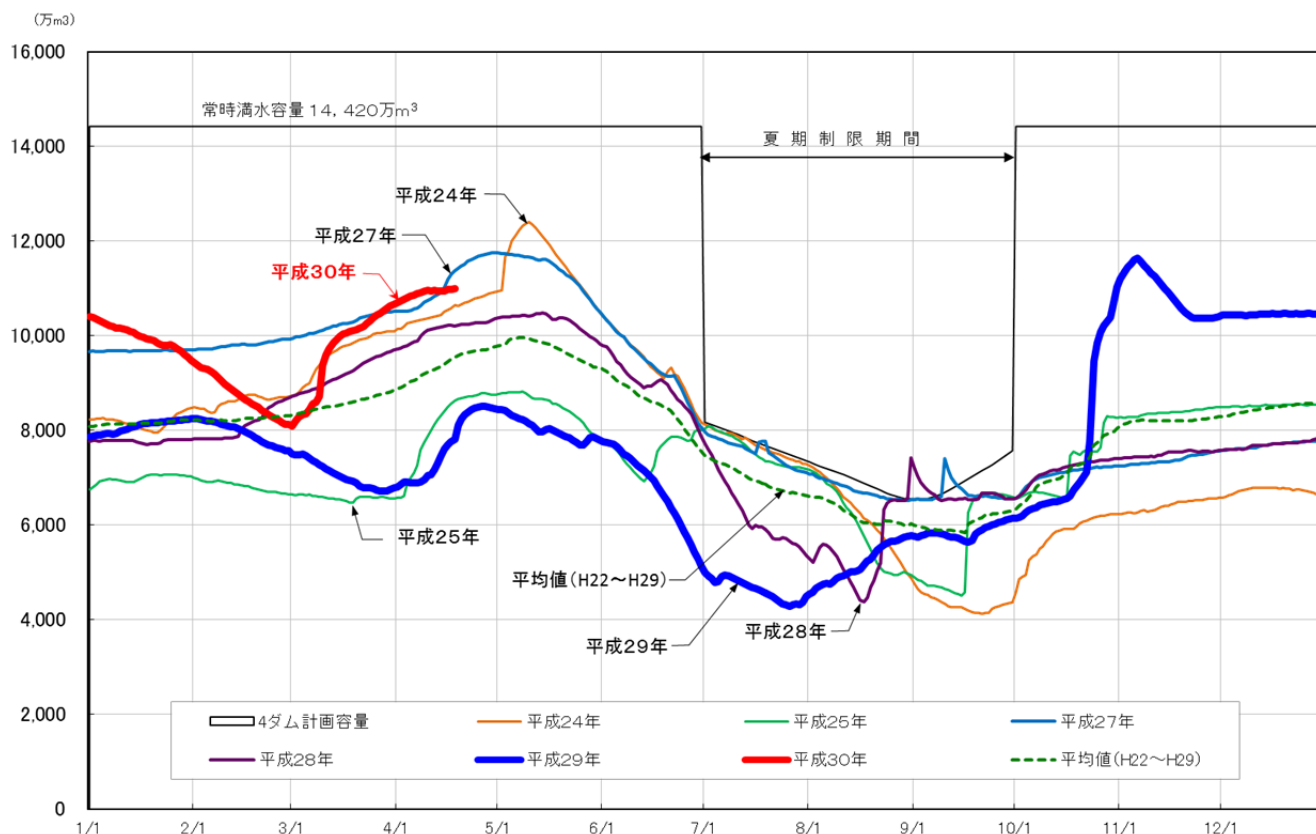
表－8 荒川4ダム貯水量（平成30年4月18日0時現在）

| ダム名                        | 有効容量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 貯水量<br>(万m <sup>3</sup> ) | 貯水率<br>(%)          | 前日補給量<br>(万m <sup>3</sup> /日) |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 二瀬ダム                       | 2,000                      | 1,516                     | 76                  | －10                           |
| 滝沢ダム                       | 5,800                      | 4,766                     | 82                  | －7                            |
| 浦山ダム                       | 5,600                      | 3,845                     | 69                  | －1                            |
| 荒川貯水池                      | 1,020                      | 860                       | 84                  | 0                             |
| 4ダム合計                      | 14,420                     | 10,987                    | 76                  | －18                           |
| 4ダム合計の平均値<br>(平成22年～平成29年) |                            | 9,539                     | (平均値に対する割合<br>115%) |                               |

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

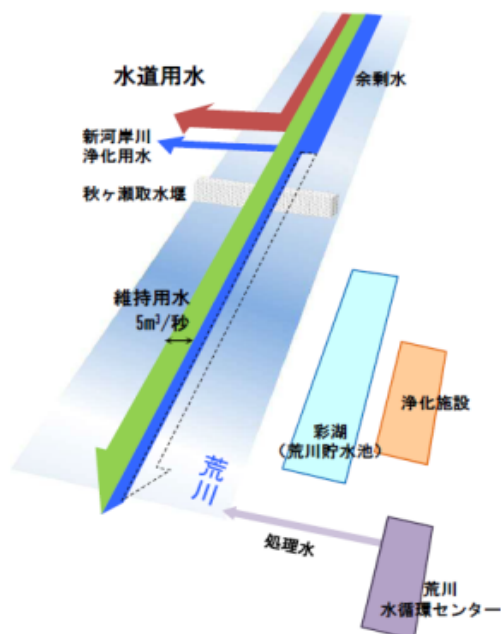


図－13 荒川4ダム貯水量図（平成30年4月18日0時現在）

### 3) 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

#### 荒川本川流量で水道用水が取水できるとき

- ・堰上流で必要な水量を取水します。
- ・余剰水は堰下流へ放流するとともに、新河岸川への浄化用水として利用します。
- ・彩湖の貯水量が少ない場合には彩湖に取水することもあります。



#### 荒川本川流量で水が足りないとき

- 水道用水を確保するため、
- ・彩湖(荒川貯水池)から堰の上流に補給します。
- ・下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、堰の下流に放流します。これにより、秋ヶ瀬取水堰は下流への放流量を減らすことが可能となり、結果として堰上流で水道用水の取水が可能となります。

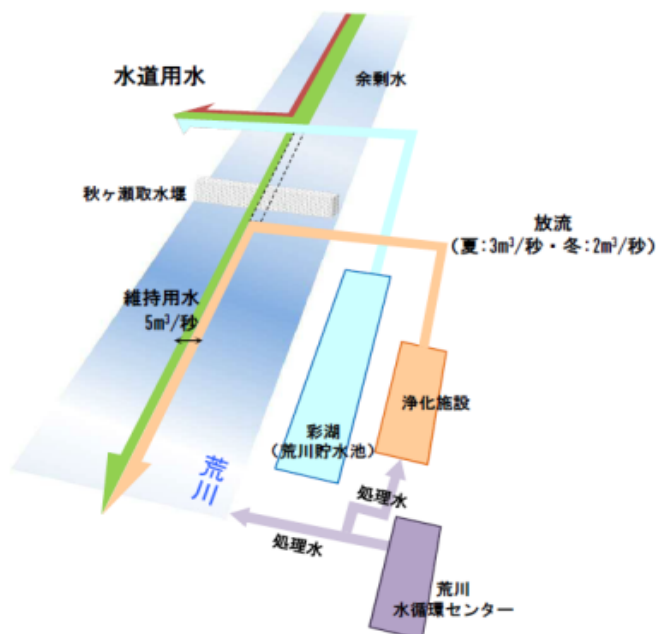


図-14 荒川貯水池及び浄化施設による利水補給

平成 30 年 1 月 5 日から 3 月 2 日までに約 650 万 m³ (41 日間) の補給をしています。(図-15 参照)

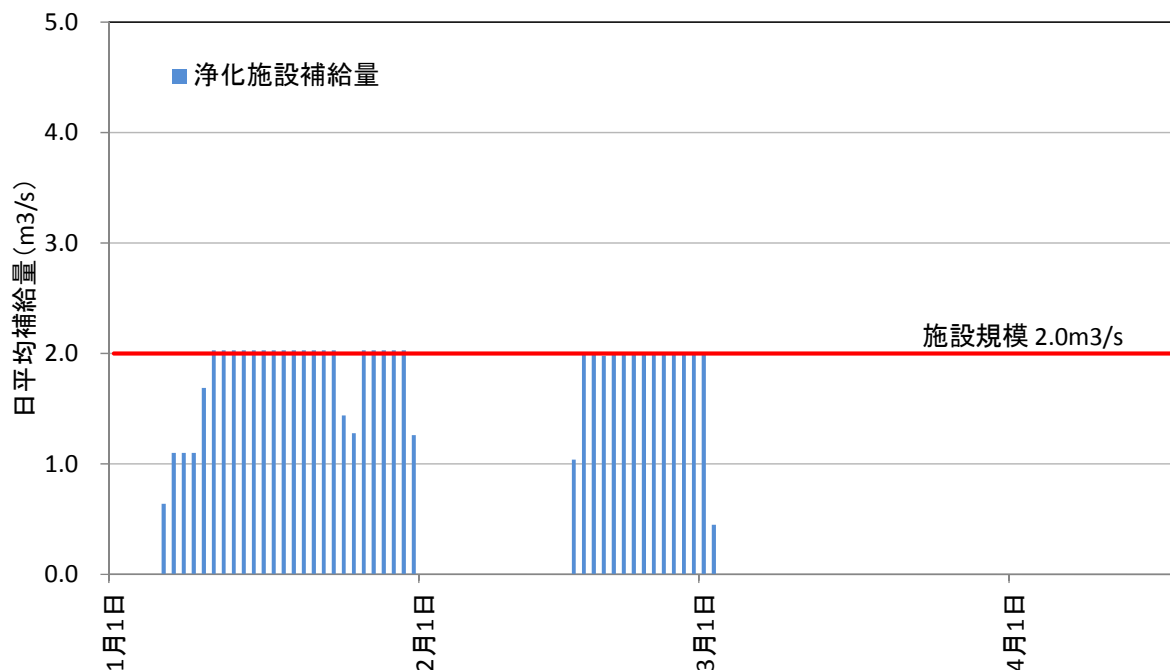


図-15 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

#### (4) 多摩川水系

##### 1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況（平成30年4月17日までの降水量）

小河内ダム地点上流域平均降水量の平成30年4月の降水量は、17日までの累加で39mm（4月の降水量の平均値は111mm）となっています。（図-16 参照）

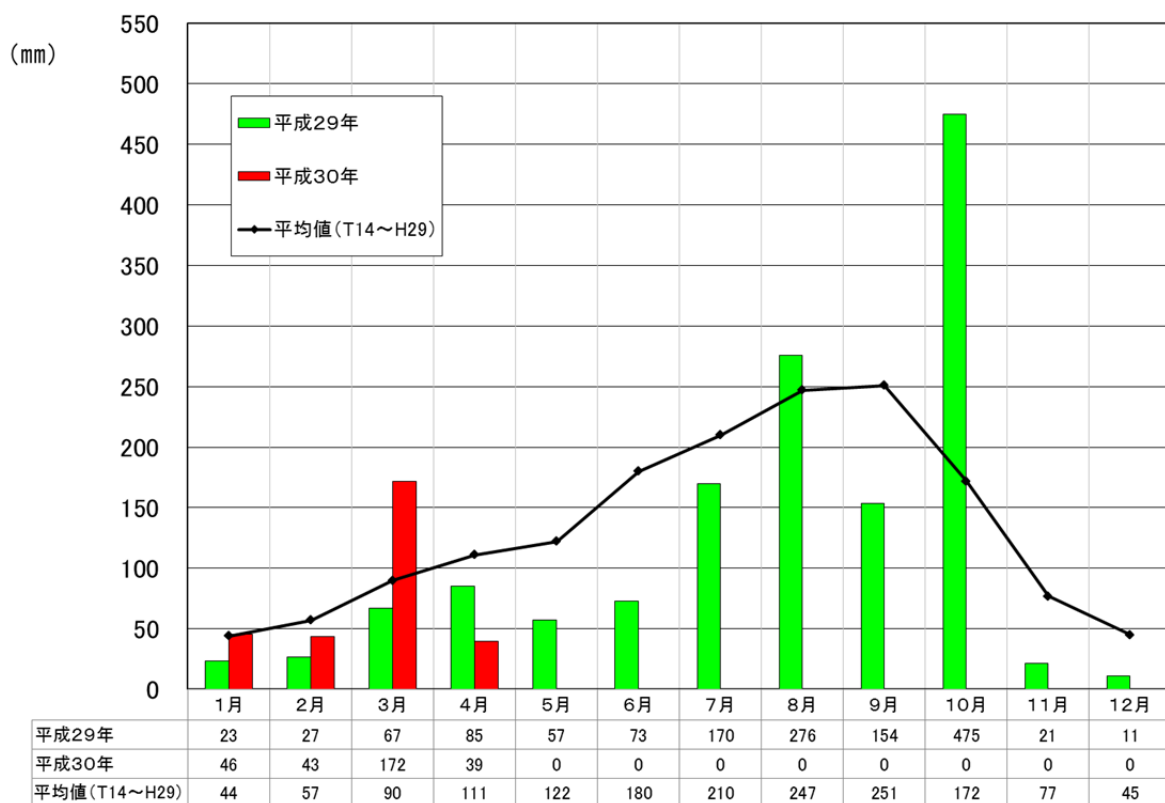


図-16 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量（平成30年4月17日まで）

##### (2) 小河内ダムの貯水状況

4月18日7時現在の貯水量は、1億6,038万 $\text{m}^3$ となっています。（図-17 参照）

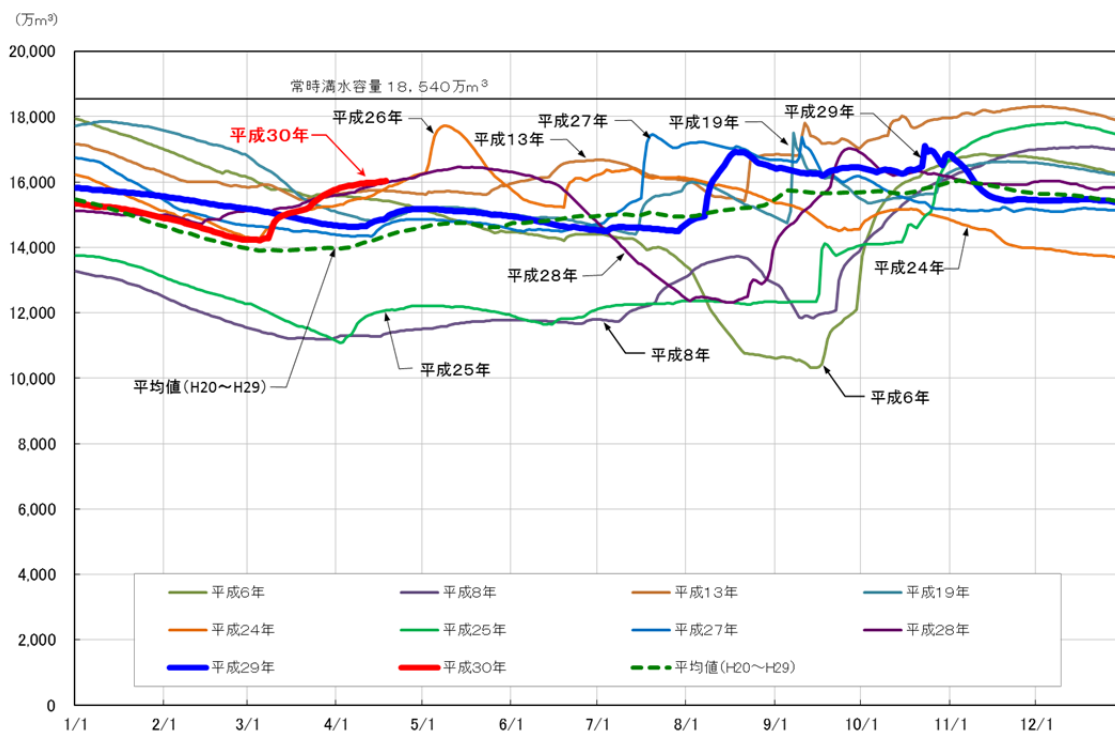


図-17 多摩川小河内ダム貯水容量図（平成30年4月18日7時現在）

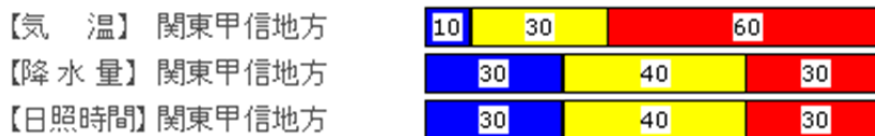
## 2. 今後の見通し

### (1) 気象予報

平成30年4月12日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月14日から5月13日までの天候見通し)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。また、3月23日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「少ない」確率が40%となっています。5月の天気は数日の周期で変わり、降水量は「平年並」の確率が40%となっており、6月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は「平年並」または「多い」確率がともに40%となっています。

なお、2月23日気象庁発表の暖候期予報(6月から8月までの天候の見通し)によると、6月から7月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、その後は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「少ない」確率が40%となっています。

#### 1か月予報(平成30年4月12日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### 3か月予報(平成30年3月23日発表)

##### 【降水量】

##### 〔関東甲信地方〕



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### 暖候期予報(平成30年2月23日発表)

##### 〈夏(6月～8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### (2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

平成30年度に、貯水池内の土砂掘削、ゲート点検等が予定されています。

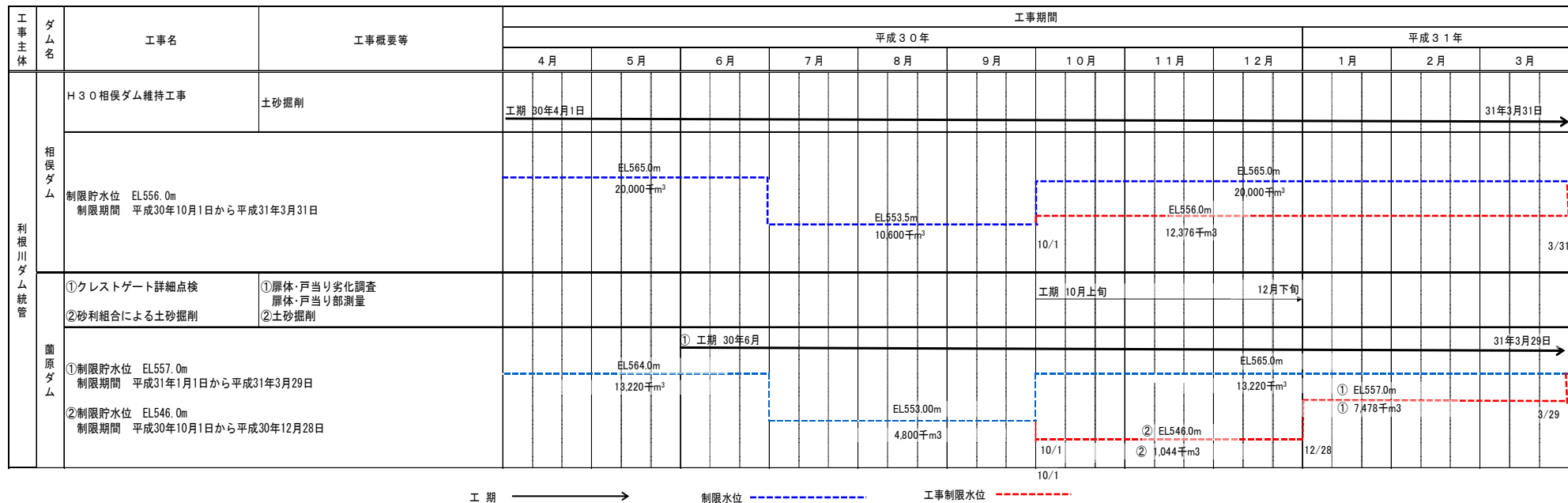
利根川上流8ダム群のうち、相俣ダム、及び蕨原ダムは、貯水池内の土砂掘削工事等を実施するため、貯水量を制限した運用を行います。来年の融雪期までには工事を完了させる予定です。渡良瀬貯水池については、利根川の流況を見ながら貯水池の水質改善の為に「干し上げ」を行うとともに、施設の維持管理に必要な工事を実施するため、4月から5月迄は、貯水池水位によっては、補給に制限がかかります。

利根川下流部施設のうち、北千葉導水路は、施設の維持管理に必要な工事を実施するため、送水量は制限されますが、1月中旬頃までには工事を完了させる予定です。

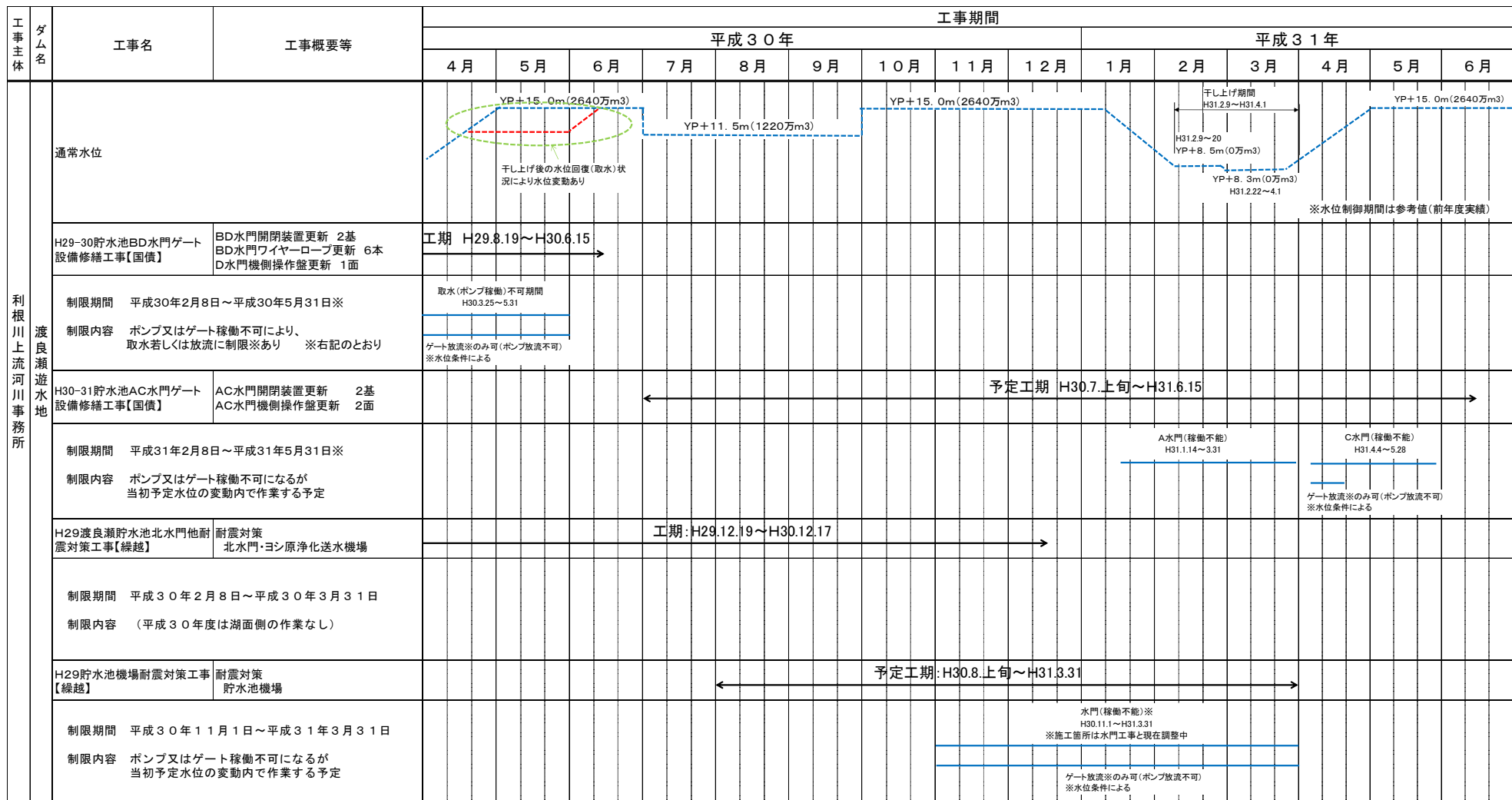
荒川4ダムのうち、二瀬ダムは貯水池内の土砂掘削工事等を実施するため、貯水量を制限した運用を行います。来年1月から貯留を開始する予定です。



《利根川 相俣ダム、葦原ダム》  
 工事制限水位等について（予定）



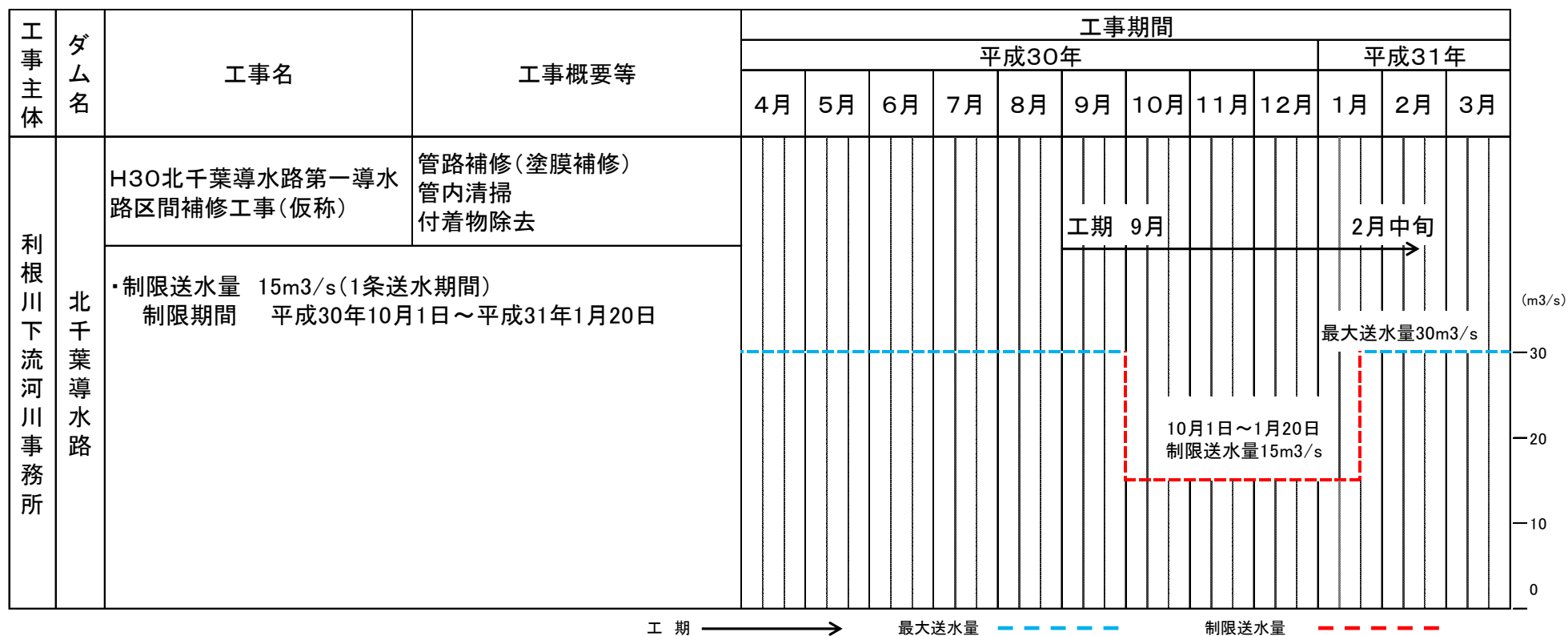
《利根川 渡良瀬貯水池》  
工事制限水位等について（予定）



工期 → 制限水位 (当初予定水位) ポンプ等不稼働期間  
 (今回変更水位)

《利根川 北千葉導水路》

工事による北千葉導水路送水量制限について（予定）



《荒川 二瀬ダム》

工事制限水位等について（予定）

[illegible]

# 関東地方の主要な河川と水資源開発施設

